

令和7年度大津市立平野幼稚園学校教育評価の結果

1. 平野幼稚園の教育目標

- ・明るく、楽しく遊び子ども
 - ・すすんで取り組み、考える子ども
 - ・やりとげる子ども
 - ・心を通わせる子ども
- ～一人一人が輝き遊び込むことを目指して～

2. 各学級目標

学年	学級目標
3	すき！たのしい！やってみたい！のまいにちを
4	すきなこと、やりたいことをいっぱい見つけて遊ぼう！
5	それもこれもいいね！自分も友達も大事！

※項目3.及び項目5の評価結果の表示方法 4…十分達成されている 3…達成されている
2…取り組まれているが、成果が十分でない 1…取組が不十分である

3. 評価項目の達成及び取組状況

年	取組指標		成果指標		取り組みの実際・具体的な姿
3	一緒に感じられるような環境(量、広さ、距離など)の工夫や活動を取り入れたり友達とのつなぎ手になったりしていく	3	先生や友達と一緒に遊んだり活動したりする楽しさを感じる	3	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して主体的に遊べるよう子どものイメージに合わせたアイテムや場所を準備し登園時に心が動く魅力的な環境を整えてきた。教師も遊びに加わり、楽しさや発見を言葉で表現することで、遊びへの意欲を引き出した。また、子どもの表情や行動を注意深く見て気持ちに寄り添うことで安心して自分を表現できる関係性を築くようにした。 ・ほとんどの子どもが「やりたい遊び」を見つけ、生き生きと遊んでいる。慣れ親しんだ遊びに、先生や友達を誘い、自分たちなりに遊びの場を整えるなど、主体的に遊びをつくり出す姿も見られるようになってきた。朝、部屋に入りにくくても、教師の声掛けで安心し身支度ができるようになってきた。遊びを通して、自己表現することや好きな人と遊ぶ楽しさを感じている。
	子どもたちが感じていることに合わせて、遊びの環境を変化させたり工夫したりしていく	3	好きな遊びや興味のあることを繰り返し楽しむ	3	
	やってみたくなるような環境を準備し、それぞれの楽しさに共感していく	3	好きな遊びを見つけて自らやってみようとする	4	
	子どもたちの思いや姿を受け止め、教師と一緒に遊びを存分に楽しむ	3	安心して幼稚園で過ごす中で、先生と一緒にやってみようとする	4	
4	その子らしさや一人一人のすきなことを教師が発信したり、クラスの中で認めたりしていくことで子どもたちが互いを大切にできる雰囲気づくりをしていく	3	自分の思いを出し、友達の思いも感じながら一緒にすきな遊びを楽しむ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して自己表現できる環境を整え、個性を尊重する支えを心掛けてきた。折り紙やこま回しなど頑張る姿を認め、時には教え合う場を設けることで、得意なことを引き出すようにしてきた。一人ひとりの作品を尊重し込めた思いに共感すると共に、言葉で気持ちを伝える大切さを粘り強く伝え嫌な気持ちも我慢せず話せるよう言い方を知らせるなど表現の力を支えてきた。劇を通じて相手の気持ちを考える機会を設け、教師の情報共有も密にすることで、支援体制を築いてきた。砂場やごっこ遊びでは場をつくり、必要なものを探しに行くなど、自分たちで遊びに取り組む姿が見られた。 ・友達の気持ちに寄り添い、助け合おうとする心も育ち相手の表情から気持ちを察したり、自分なりにどうしたらいいかを考えたりする姿も見られる。 ・安心できる環境で自ら行動できる喜びを感じ、進んで挨拶し自信をもって生活や遊びに取り組んでいる。
	相手の気持ちが感じられるような言葉を掛けたり、互いの思いの橋渡しをしたりしていく	3	自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いに気付いたりする	2	
	友達に自分の言葉で伝えようとしている姿を見守ったり、伝えようとしている気持ちを支えたりする	3	遊びや生活の中で、自分の思いを相手に伝えていこうとする	3	
	安心して自分を出していける関係づくり。一人一人の思いを受け止め、楽しんでいることややしていることを理解しながら環境を用意する	3	安心して園生活を送り、やりたいことを存分に楽しむ	3	
5	友達のよい面に気付けるような活動で一人一人が輝ける場をつくらしたり、いろいろな友達と力を合わせる遊びを取り入れたりする	4	自分も友達も大事にできる自信をもち、友達と力を合わせてやってみようとする	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが輝く瞬間を見逃さず、一人ひとりの「よい面」や「頑張り」を丁寧に拾い上げ認め合う機会を大切にしてきた。「自分にもできた」という小さな成功体験を積み重ねそれが大きな自信へと繋がる姿を見せてくれた。 ・集団で力を合わせることの楽しさや大切さを体感できるようパルーンやリレーといった、互いに気持ちを寄せ合い一つの目標に向かう活動を積極的に取り入れ、協同的な取り組みの中で、子どもたちは友達の頑張りにも気付き、「すごいな！」と心から認め合うようになった。その姿に刺激を受け、「自分もやってみよう」と新たな挑戦へ踏み出す意欲的な姿も数多く見られ、クラス全体に前向きな相乗効果が生まれた。
	みんなで相談する機会をもったり、一つのことを考え、思いを伝え合う時間を確保したりする	4	友達の姿や自分とは違う考えや思いを知り、受け入れようとする	3	
	一人一人の姿を認めたり、クラスの中で肯定的に取り上げたりして刺激や意欲につなげていく	4	自分なりの方法で取り組んだり、新しいことをやってみようとする	4	
	一人一人の気持ちや考えを丁寧に受け止める	4	安心して自分の思いを出せる	3	

4. 学校関係者評価委員会による評価及び意見の概要

しっかりと経営の考えが共有され一人ひとりの心の成長を大切に個性に応じたきめ細やかな特別支援や個別支援が工夫されている。楽しいからこそ学びが深まる。人との関わりの中で愛され、自分に自信を持つためには、一人でなくみんなで育てることの大切さを思う。挨拶が丁寧になってきている。朝の挨拶運動といった日常の活動を通じた「繋がり」の創出や、子どもたちが友達の思いやる心を育てている点が肯定的に捉えられている。劇の練習で友達をいたわりながら励ましていた。外から見てもよく走っていて活気がある。小学校の連携が今後も継続されることへの期待が示された。

5. 自己評価結果と学校関係者評価の結果を踏まえた、学校評価の具体的な目標の総合的な評価結果の概要

結果	理由
3	遊び込める環境を追求してきたことで、「安心できる関係性がベースにあり自ら環境に関わり、生活習慣を含め自分で出来ることが自信となり前向きな気持ちで主体的な態度が育成されていく」という成長の流れを教員で共有した上でどのような環境づくりや援助が必要かを考えを出し合うことができた。3年間の育ちの中で、仲間との協調や協働という社会で調和的に生きていくための年齢にふさわしい育ちが年度末を迎える各学級で見られたことは成果である。子どもたちの姿は日々、様々な姿を見せる。集団として育むとともに、一人一人の育ちや課題に合わせて、丁寧できめ細やかな支援や環境づくりができるよう、たゆまぬ努力をしていくことが、これからも必要である。今後も保護者、地域や関係機関の皆様との関係に支えていただきながら園目標を達成できるよう向上心を忘れず取り組んでいきたい。